

公共事業の効果等について

1 河川砂防課 P 1

急傾斜地崩壊対策事業 吉田地区 (伊万里市大川内町)

2 農地整備課 P 1 5

地域水田農業支援緊急整備事業 橋下地区

(武雄市北方町)

3 森林整備課 P 3 1

水源流域地域保全整備事業 野々頭地区

(伊万里市山代町大字東分)

4 港湾課 P 4 1

港湾施設改良費統合補助事業 唐津港東港地区

(唐津市東大島町)

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：急傾斜地崩壊対策事業
- 路線名又は箇所名：吉田地区
- 事業の概要
 - 工 期：平成16年度～平成18年度
 - 事業費：約1.7億円
 - 事業内容：擁壁工 L=411m

【公共事業の効果等】

- 急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）による災害から「県民の生命を保護」

【事業実施前の状況等】

- 吉田地区は伊万里市南部にあり、15戸の人家が密集している地区。
- 斜面は人家と近接しており、地質も風化が進んだ軟岩であることから、過去至るところで小規模崩落、落石が確認された。
- 平成15年梅雨前線豪雨による隣接斜面の崩壊に伴い、地元住民からの一刻も早い斜面对策工事要望をうけ、平成16年度より事業着手に至った地区である。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 事業実施後、住民より「降雨時の安心感が増した」等の事業効果に関する声が寄せられた。
- また、平成25年8月の豪雨の際に当該地区内で土砂崩れが発生したが、崩壊土砂を当該事業で整備した対策施設が捕捉し、崖下家屋への影響はなかった。（事業効果の発現）

（住民の声）

- ・ 以前は斜面のいたるところで小規模崩壊や落石が発生しており、降雨時は不安があったが、施設整備後は安心して眠れるようになった。
- ・ 整備後、水はけがよくなり、斜面のじめじめした感じが解消された。
- ・ 以前は斜面が接近し家の中が暗かったが、整備後は家の中が明るくなった。
- ・ (H25.8斜面崩壊発生後) 対策施設のおかげで被害が出ずにすんだ。

公共事業に係る効果等について

急傾斜地崩壊対策事業

吉田地区（伊万里市大川内町）

（河川砂防課）

○急傾斜地崩壊対策事業の概要

①目的・内容

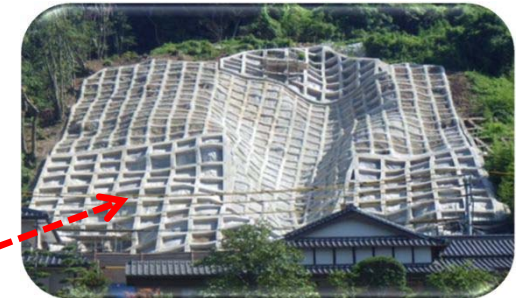
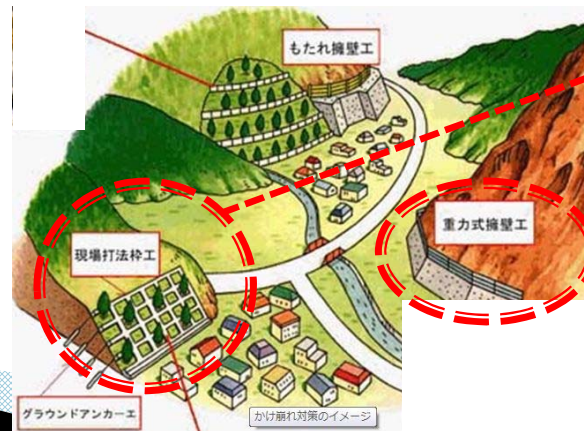
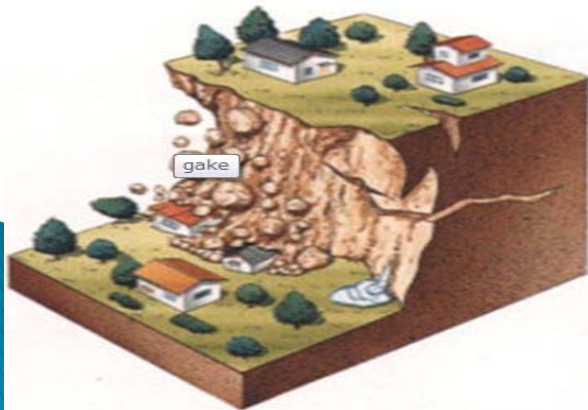
- ・急傾斜地の崩壊による災害から「国民の生命を保護」、「国土の保全」する。
- ・自然がけに対し急傾斜地の崩壊を防止する工事を行う事業である。

②採択要件

- ① 事業費7,000万円以上
- ② 急傾斜地(傾斜 30° 以上の斜面)の高さが10m以上であること
- ③ 人家概ね10戸以上、又は避難所に倒壊著しい被害を及ぼす恐れ 等

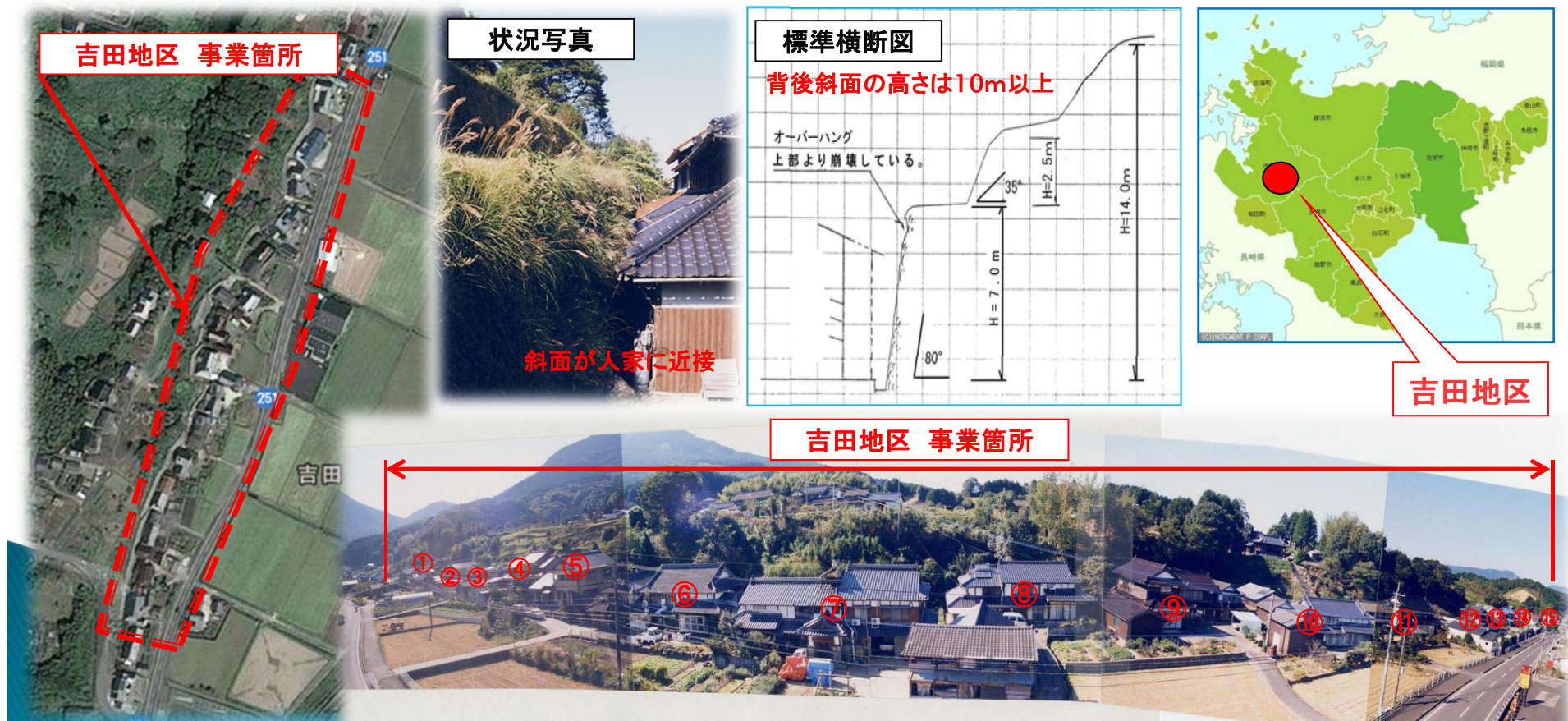
③負担割合

- ・国:45%、県:45%、市:5%、住民:5%



○吉田地区(伊万里市大川内町)の概要

- ・吉田地区は伊万里市南部にあり、**15戸の人家が密集**している地区である。
- ・斜面は人家と近接しており、地質も風化が進んだ軟岩であることから、過去至るところで小規模崩落、落石が確認された。
- ・**平成15年梅雨時期の豪雨による隣接斜面の崩壊**に伴い、地元住民からは一刻も早い斜面对策工事を要望をされ、**平成16年度工事着手**、**平成18年度完成**に至った。



○吉田地区(伊万里市大川内町)の概要

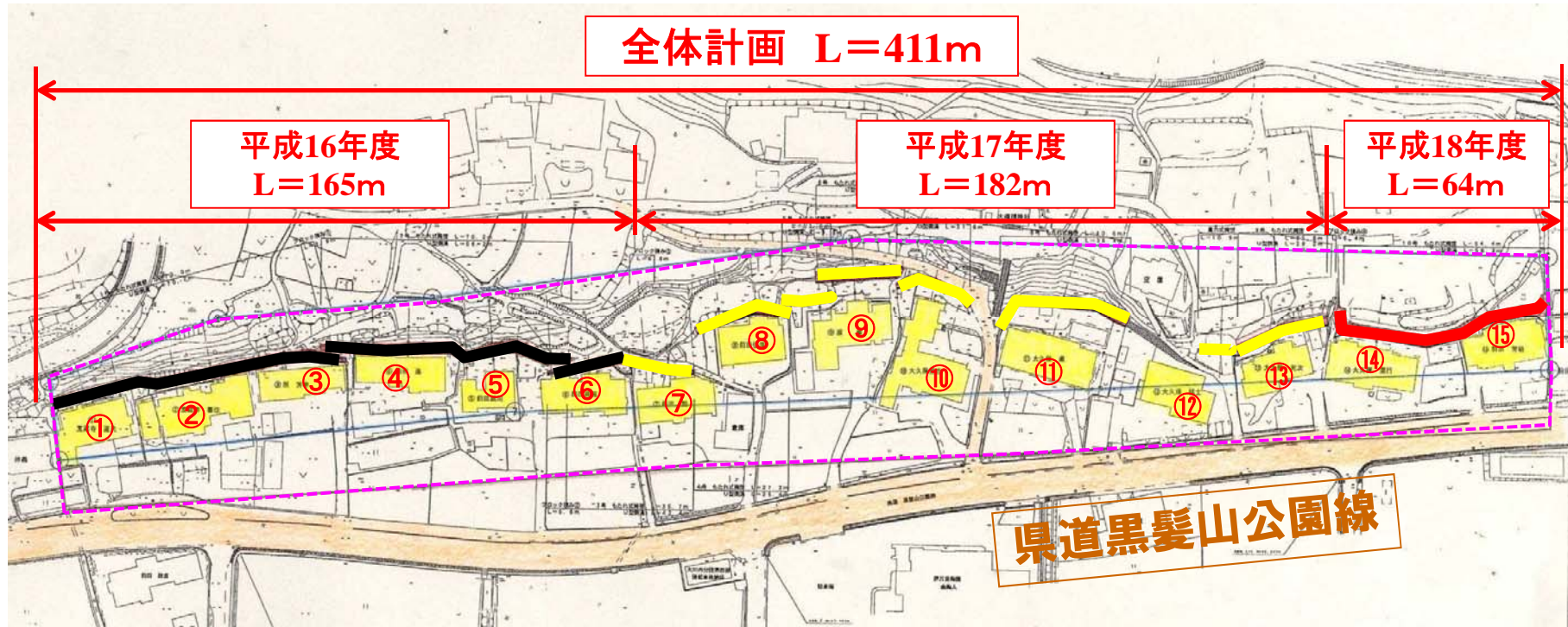
平成15年梅雨時期の豪雨により隣接斜面の崩壊発生



幸い人的被害は発生しな
かったものの、家屋が損傷

斜面崩壊対策の事業要望へ

○急傾斜地崩壊対策事業 吉田地区の概要



- ・事業箇所: 佐賀県 伊万里市 大川内町 吉田地区
(保全対象: 人家15戸)
- ・事業期間: 平成16年度～平成18年度
- ・総事業費: 約1.7億円
- ・事業概要: 全体計画区間 L=411m (擁壁工)

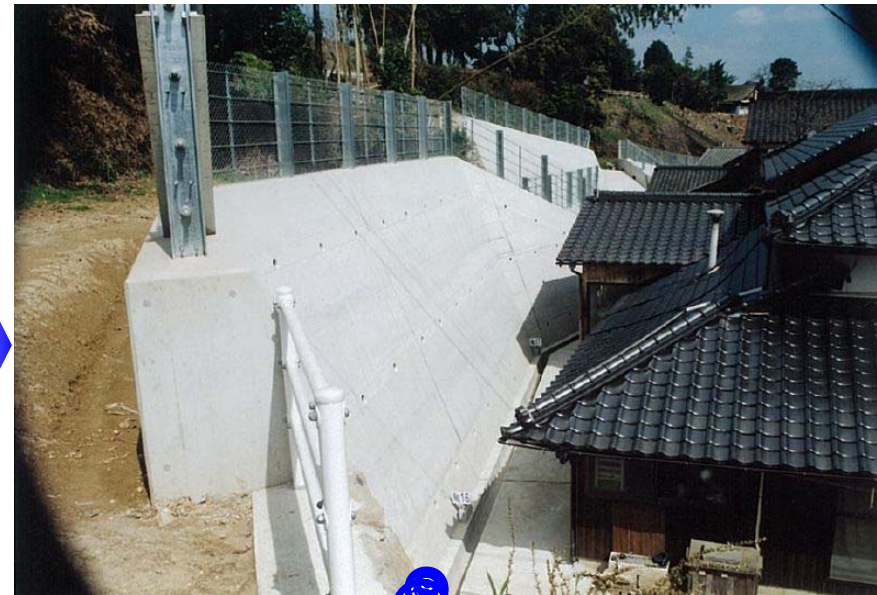
	事業費(百万円)	進捗率(%)
全体事業費	169.6	
平成16年度	65.0	38
平成17年度	69.6	79
平成18年度	35.0	100

○急傾斜地崩壊対策事業 吉田地区の概要

整備前



整備後



【地元の声】

・安心して眠れるようになった。

○急傾斜地崩壊対策事業 吉田地区の概要

整備前



整備後



【地元の声】

・斜面の水はけがよくなった。

○急傾斜地崩壊対策事業の効果【吉田地区】

H25.8.25豪雨により吉田地区 対策箇所での斜面崩壊発生

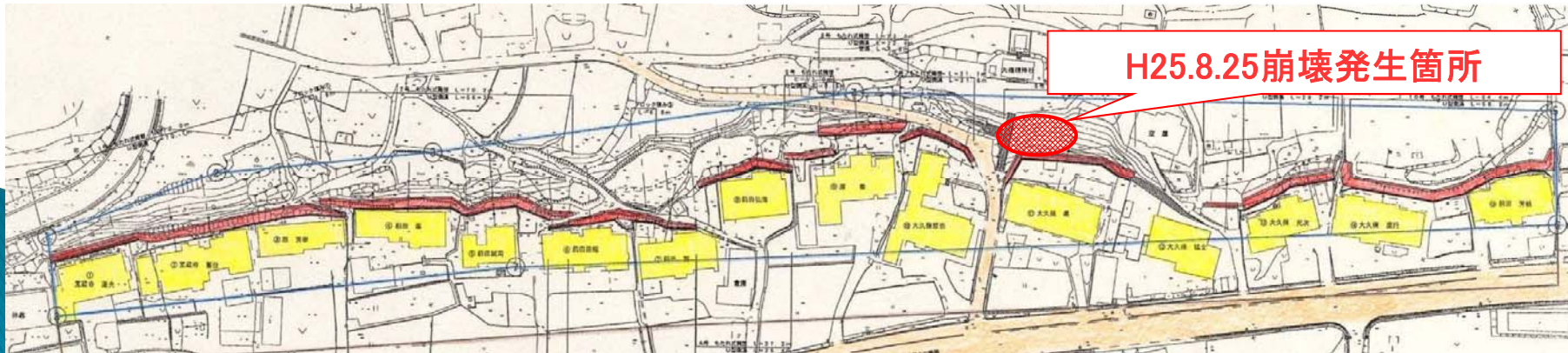
災害発生直後（正面から撮影）



災害発生直後（斜面上部より撮影）



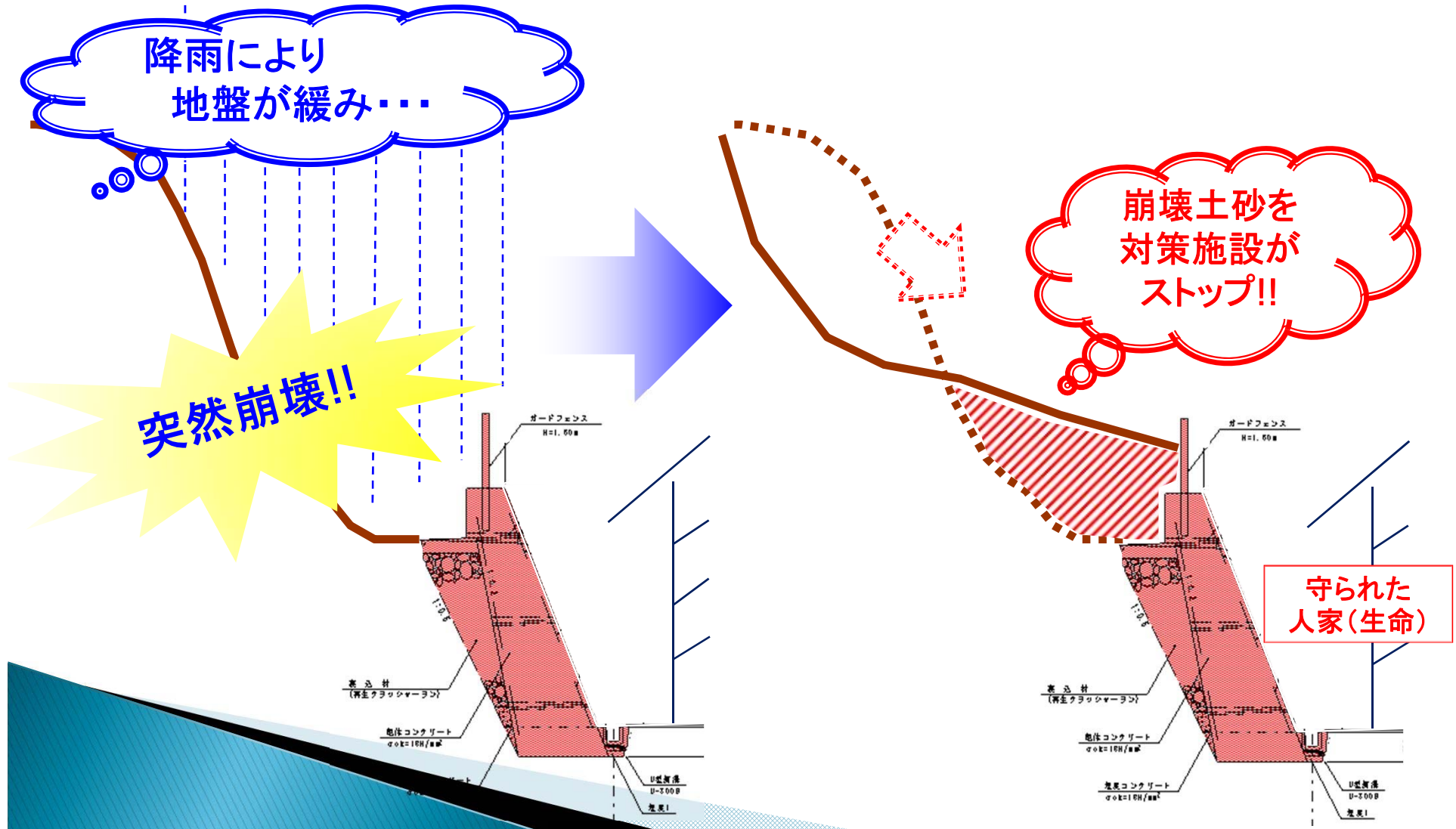
H25.8.25崩壊発生箇所



○急傾斜地崩壊対策事業の効果【吉田地区】

崩壊土砂を対策施設(待受け擁壁)が捕捉

イメージ



○急傾斜地崩壊対策事業の効果【吉田地区】

崩壊土砂を対策施設(待受け擁壁)が捕捉

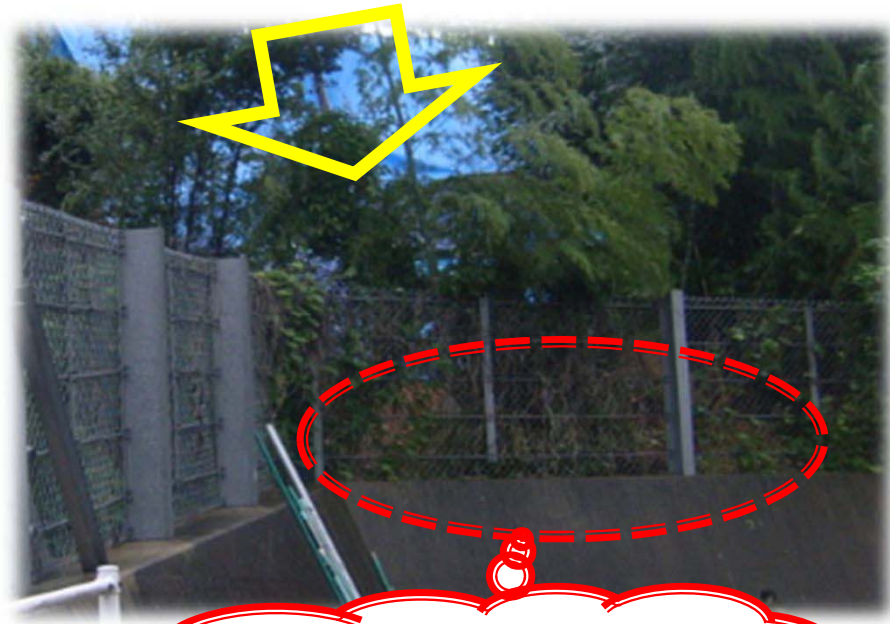
実際の写真



崩壊土砂を
対策施設が
ストップ!!

【地元の声】

・対策施設のおかげで、
大きな被害が出ずにすんだ。



対策施設前面に土砂
の流出は見られない

斜面の崩壊による災害から人家(生命)を保全

○急傾斜地崩壊対策事業の効果【県内他地区】

落石を対策施設(待受け擁壁)が捕捉

H25.6.10 落石発生



落石(巨石)を
対策施設が
ストップ!!



斜面上部より
巨石が剥離し落下

守られた
人家(生命)

落石による災害から人家(生命)を保全

○急傾斜地崩壊対策事業の効果【県内他地区】

落石を対策施設(待受け擁壁)が捕捉

H25.8.30 斜面崩壊



崩壊土砂を対策施設が
ストップ!!



守られた
人家(生命)

斜面の崩壊による災害から
人家(生命)を保全

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名： 地域水田農業支援緊急整備事業
- 路線名又は箇所名： 橋下地区
- 事業の概要
 - 工 期：平成16年度～18年度
 - 事業費：172,200千円
 - 事業内容：暗渠排水整備

【公共事業の効果等】

- 湿田解消による作物生育の改善
- 乾田化による営農経費（労働時間）の削減
- 担い手への農地集積の向上

【事業実施前の状況等】

- 既存の暗渠排水の被覆材（もみ殻）が腐食したこと等により排水不良が生じ、作物の生育が悪く、単収が少なかった。
- 排水不良水田では計画的な作付けや作業が進められず、営農に支障を来していた。
- 収益性の高い畑作物の導入ができにくかった。
- 地区内の高齢農家所有農地から担い手への農地集積が進まなかった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 農地の排水条件が改善された。
- 乾田化により労働時間が短縮された。（大型機械の導入が図られた）
- 小麦、玉ねぎの収量増が図られた。
- 担い手農家への農地集積が進んだ。

（県民の声）

- 排水の悪い農地だったが、暗渠排水事業を取り組んだことにより作物の生育が良くなり、収量アップした。
- 排水が良くなり、耕起等適期作業が行えるようになった。また、雑草の繁茂がなくなり、作業手間が省けた。
- 担い手への農地集積が進み、経営が安定した。
- 良好な排水状況を持続するため、一部箇所で管の洗浄等メンテナンスが必要となっている。

H25.9.19作成

公共事業に係る効果等について

地域水田農業支援緊急整備事業 橋下地区

(農地整備課)

○事業概要

○事業名 地域水田農業支援緊急整備事業

○地区名 橋下地区

○所在地 武雄市北方町

○工期 平成16年度～平成18年度

○総事業費 172,200千円

○事業内容 暗渠排水 A=157.9ha

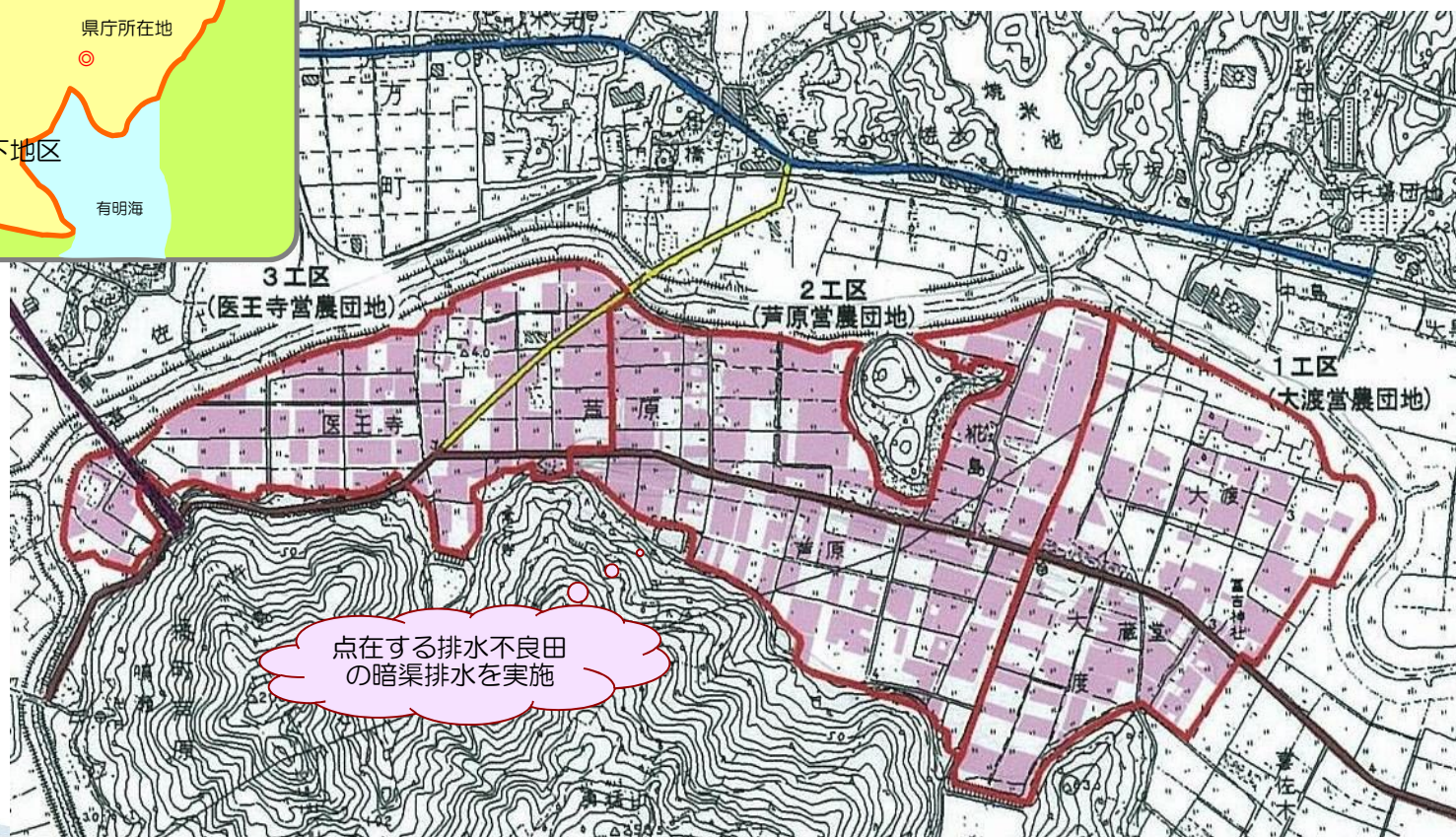
○整備前状況

農地の排水不良が生じ、計画的な作付けや担い手への農地集積といった効率的な農業経営の展開が阻害。

○整備内容

農地の排水対策(暗渠排水)を実施。

○事業位置



○事業目的・効果

事業目的

地域の特性に応じた水田の有効利用や地域農業の振興を支援するため、耕地の汎用化をはじめとした農用地の高度利用や水田の畑地化等、地域の主体性を活かした条件整備を機動的かつ緊急的に行う。

事業効果

- ・農地の排水条件が改善された。
- ・乾田化により労働時間が短縮された。(大型機械の導入が図られた)
- ・小麦、玉ねぎの収量増が図られた。
- ・担い手農家への農地集積が進んだ。

○整備前状況

機能低下した暗渠排水



△ 変形し目詰まりした排水管



△ 腐食した疎水材（もみがら）

排水不良の農地



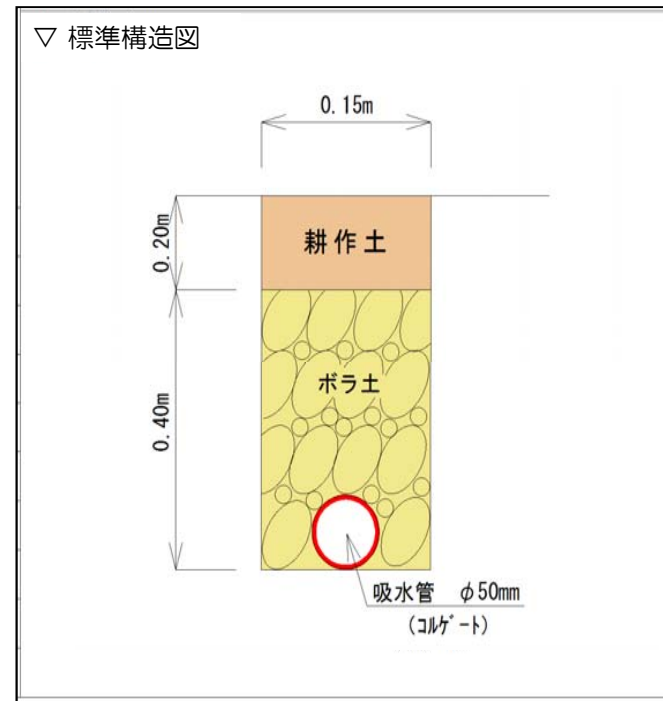
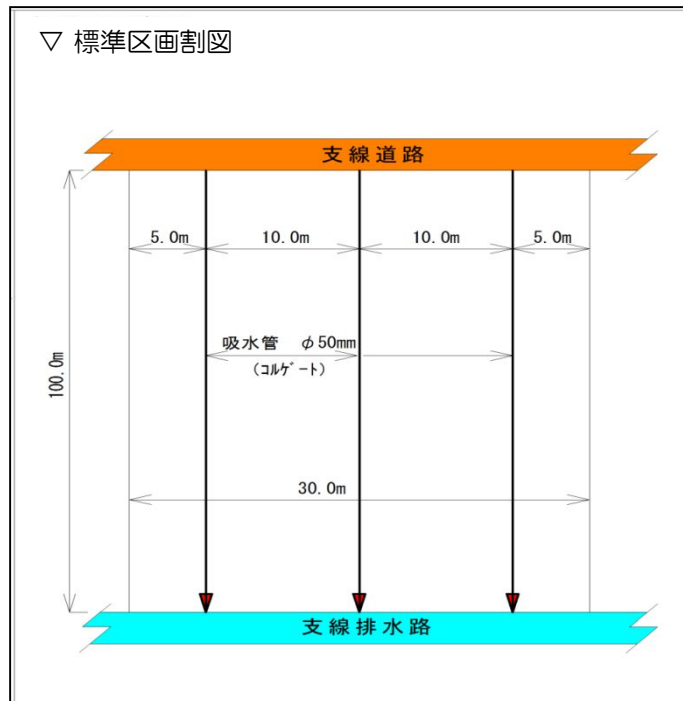
△ 排水が悪い農地

▽ 生育不良の大豆



△ 生育不良の麦

○整備計画(標準図)



○施工状況

▽ トレンチャー施工



▽ 疎水材（ボラ土）



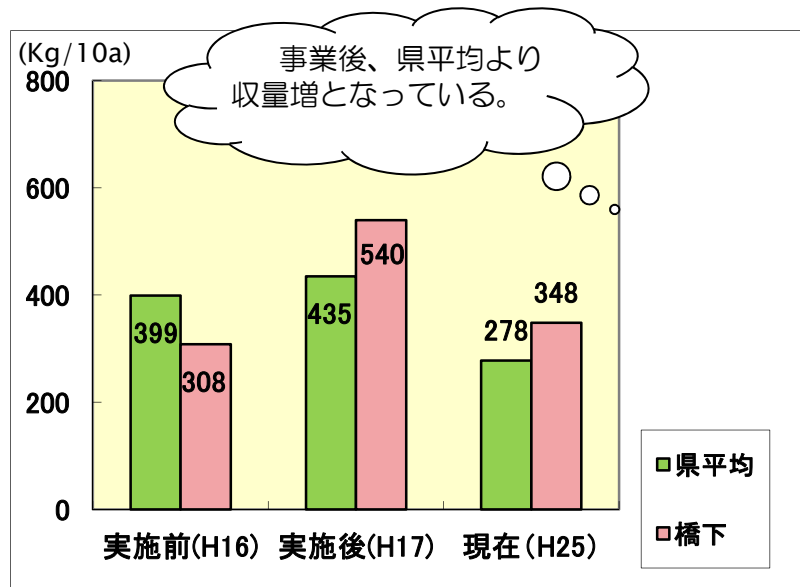
ボラ土【ほらつち】

比較的新しい火山活動により噴出した軽石が堆積したもので、宮崎県、鹿児島県に分布する。耐久性・排水性が高く暗渠排水の疎水材に適している。また、エビネなどの園芸用土や、ゴルフ場、野球場などの客土としても用いられる。

○事業効果(1)

◆◇乾田化による畑作物の収量増◇◆

▽小麦



H19以降は、小麦品種を変更(めん用→パン用)して作付けされている。(H24はパン用小麦データ)

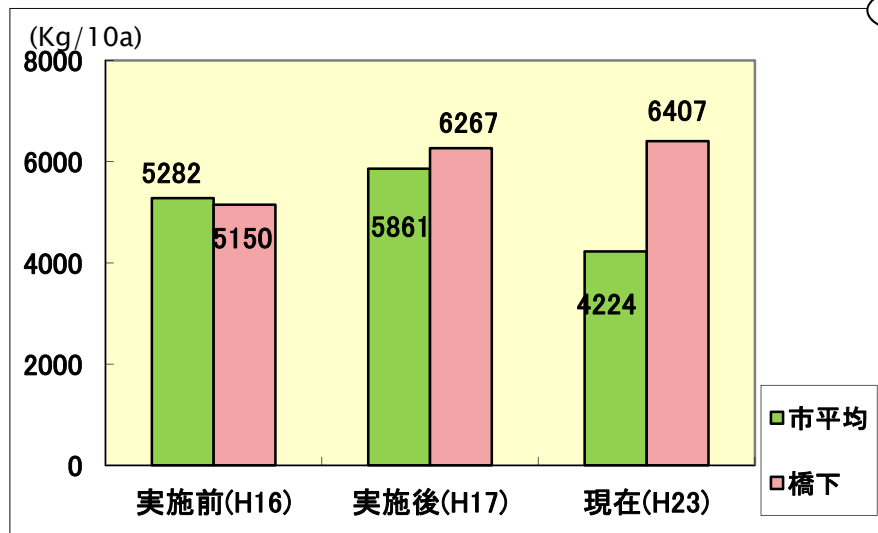
▽生育が良好な小麦



○事業効果(2)

◆◇乾田化による畑作物の収量増◇◆

▽ たまねぎ



排水が良くなり、適期作業ができるようになった。



○事業効果(3)

◆◇担い手への農地集積率◇◆

事業を契機に、担い手への
農地集積を加速化！

※担い手農家への集積率
【H16】 【H22目標】
31% → 61%

項目	地区農地面積(ha)	担い手経営面積(ha)	集積率(%)	備考
現況(H16)	216.0	66.5	30.8	計画時
事業完了時(H18)	216.0	100.3	46.3	〃
目標年度(H22)	216.0	131.0	60.6	〃
実績(H22)	216.0	166.4	77.0	

受益者の声

水はけが良くなったことで大型機械での作業が行えるようになったことや、水管理、除草などの作業時間が短縮できたことで、農地集積が進んだ。

○県民の意見

【メリット】

○排水の悪い農地だったが、暗渠排水事業を取り組んだことにより作物の生育が良くなり、収量アップした。

○排水が良くなり、耕起等適期作業が行えるようになった。また、雑草の繁茂がなくなり、作業手間が省けた

○担い手への農地集積が進み、経営が安定した。

【今後の管理】

○良好な排水状況を持続するため、一部箇所では管の洗浄等メンテナンスが必要となっている。

(参考1) 事業効果

◆◇未整備箇所との水稲生育状況比較◇◆

同時期に作付けした水稲(写真:H25.9.12)

▽ 未整備 (事業参加なし)



水はげが悪い

▽ 整備 (受益者)



水はげが良い

受益者の声

暗渠排水整備したことで、水管理が容易になり、同時期に作付けした水稲だが、生育に差がでている。

(参考2) 事業効果

暗渠排水の効果事例(大豆)

一部が湿田のため、
生育不良がある。



(排水不良田の生育状況)

排水不良田に
作付すると・・・



(排水不良田)

暗渠排水の実施
で、作物の生育
が良好。



(整備済田の生育状況)

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名： 水源流域地域保全整備事業
- 路線名又は箇所名：伊万里市山代町大字東分 「野々頭^{ののとう}地区」
- 事業の概要
 - 工 期：H11～H18
 - 事業費：658,998千円
 - 事業内容：貯水型治山ダム 1個、治山ダム 10個、流路工 102.9m
本数調整伐（間伐）21.7ha、枝落とし9.5ha、管理車道 1,805m（幅員 3.6m）

【公共事業の効果等】

- 水不足の解消
- 荒廃溪流の改善
- 森林の持つ公益的機能の発揮
- 用水路の管理や森林整備作業の利便性向上

【事業実施前の状況等】

- 「野々頭地区」地区の生活用水や農業用水は、湧水や溪流からの流水に依存していたため、一度、干ばつ等が発生すると水飢饉に見舞われ、生活や農業に支障を来してきた。
- 溪流は、急勾配で溪岸浸食が進み、不安定な土石の堆積や濁水があった。
- 溪流から引いた用水路の管理や山の手入れのための道路が無い場合、作業には歩いて行くしか手段がなく、多大な労力と時間を要してきた。
- 森林は、間伐等の遅れから荒廃森林に移行しつつあった。
このことから、地元地区より水源流域地域保全整備事業について要望がなされた。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 溪流に貯水型治山ダム等を設置したことにより、水不足の解消や溪岸浸食、濁水防止が図られた。
- 森林整備については、本数調整伐等（間伐や枝落とし）を行ったことにより、水資源のかん養機能など森林の持つ公益的機能の発揮が図られた。
- 管理車道を設置したことにより、用水路の管理や森林整備作業における労力の軽減と時間の短縮が図られた。
（県民の声）
- 事業完了後、貯水型治山ダムは常に満水で水不足が解消され、安心して生活ができている。
- 用水路の取水口については、十分な対応（分水仕切り、補強）がなされ、満足している
- 管理車道が設置され、車での用水路の管理や森林整備作業の利便性が大変向上した。
- 本数調整伐（間伐）を実施してから10年前後が経過し、林分が密閉してきていることから、再度、森林整備をお願いしたい。

公共事業に係る効果等について

水源流域地域保全整備事業

伊万里市山代町大字東分

の の とう

「野々頭地区」

(森林整備課)

集落上部から伊万里湾を望む

事業概要

○事業背景

ののとう

「野々頭地区」の生活用水や農業用水は、湧水や溪流からの流水に依存していたため、一度、干ばつ等が発生すると水飢饉に見舞われ、生活や農業に支障を来たしてきた。

また、溪流から引いた用水路の管理や山の手入れのための道路が無いいため、作業には歩いて行くしか手段がなく、多大な労力と時間を要してきた。

○事業目的

水不足の解消と荒廃した溪流の溪岸浸食や濁水防止を図ることを目的に治山事業により治山ダムや流路工を設置する。

また、用水路の管理や森林整備作業における労力の軽減と時間の短縮を図るため、管理車道を設置する。

さらに、水資源のかん養機能など森林の持つ公益的機能の発揮を図るため、本数調整伐（間伐）や枝落しなどの森林整備を行う。

○事業名：水源流域地域保全整備事業

○箇所名：伊万里市山代町大字東分 ののとう 「野々頭地区」

○工期：H11～H18

○総事業費：6.6億円

○事業内容

貯水型治山ダム1個、治山ダム10個、流路工102.9m

本数調整伐（間伐）21.7ha、枝落し9.5ha

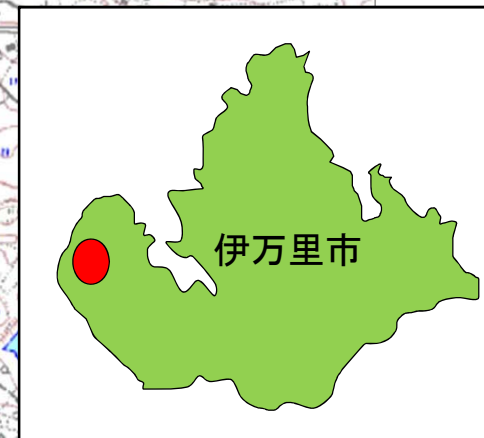
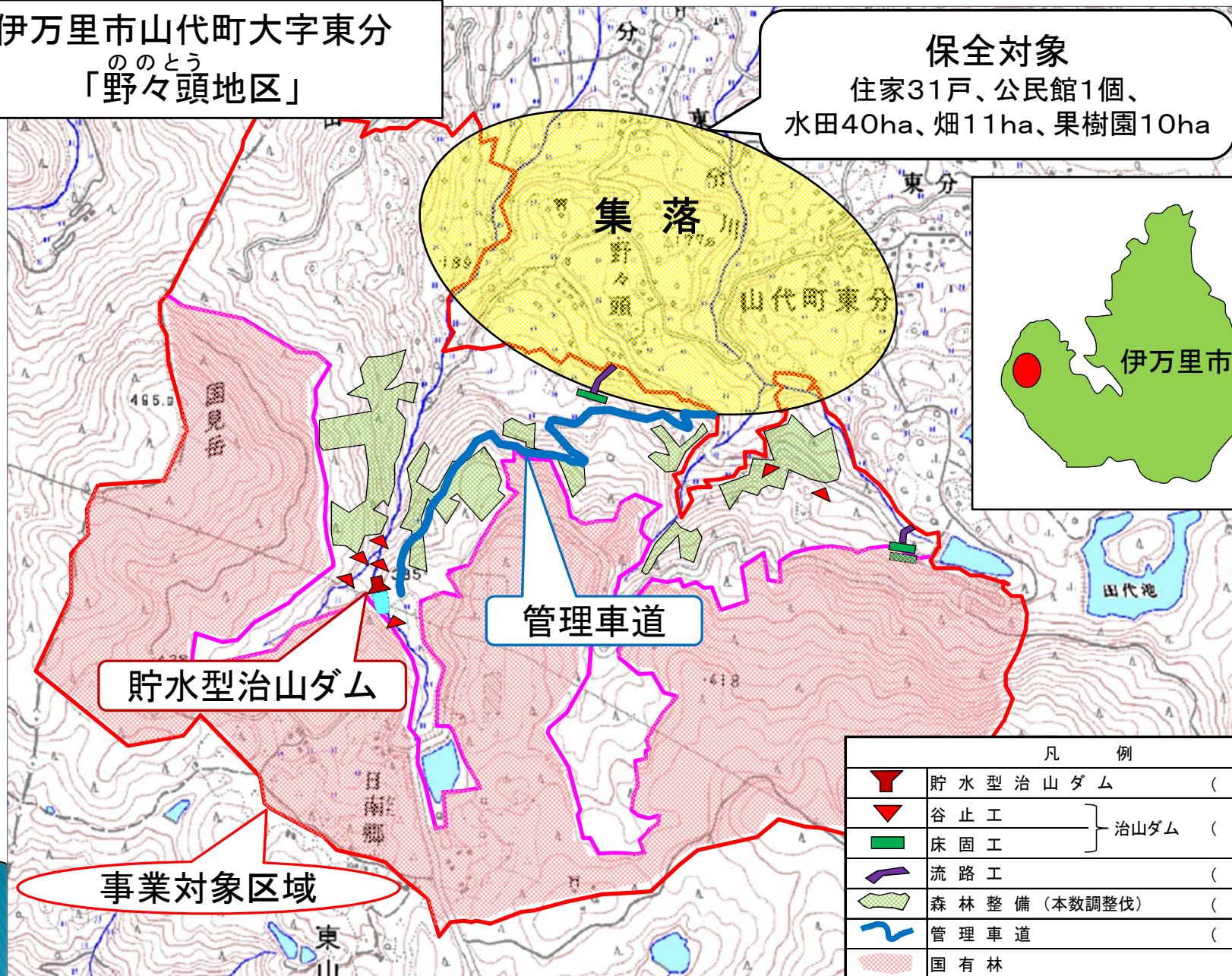
管理車道1,805m（幅員3.6m）

事業概要

野々頭地区

伊万里市山代町大字東分
ののとう
「野々頭地区」

保全対象
住家31戸、公民館1個、
水田40ha、畑11ha、果樹園10ha



貯水型治山ダム

管理車道

事業対象区域

凡 例		
	貯水型治山ダム	(1個)
	谷止工	} 治山ダム (10個)
	床固工	
	流路工	(102.9m)
	森林整備 (本数調整伐)	(21.7ha)
	管理車道	(1805m)
	国有林	

事業効果の発現状況

野々頭地区

- 貯水型治山ダム等の設置により、生活用水等の水不足が解消された。（地元住民の意見）
【水 量 〔H11〕 不安定な水量 → 〔H18〕 安定した水量】 50日分／人相当の生活用水を確保
- 用水路への土砂等の流入が解消された。
- 管理車道の設置により、用水路の維持管理や森林整備作業の効率化につながった。
【時間短縮 〔H11〕 往復1時間（徒歩） → 〔H18〕 往復10分（車）】

貯水型治山ダム(貯水量V=約1400m³)



管理車道(利便性向上)

野々頭集落(水不足の解消)



用水路の管理や森林整備作業(効率化)

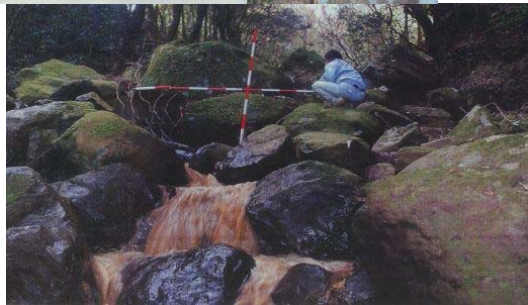


事業による環境への影響

野々頭地区

- 治山ダム等の設置により、溪流の溪岸浸食や濁水が防止され、水質が改善された。
- 荒廃しつつあった森林を整備（間伐や枝落とし）したことにより森林の持つ機能が維持された。

整備前（溪流の浸食・濁水、荒廃移行森林）



整備後（治山ダムや間伐、枝落とし）



施設の維持管理状況

野々頭地区

- 治山ダムや流路工の構造物施設の管理は、県が行っている。
- 用水路の施設管理や草刈りなど維持管理は、地元住民が行っている。
- 管理車道の施設管理は、伊万里市が行っている。

治山ダム(佐賀県で管理)



用水路(地元住民で管理)



管理車道(伊万里市で管理)



地域住民等県民の意見

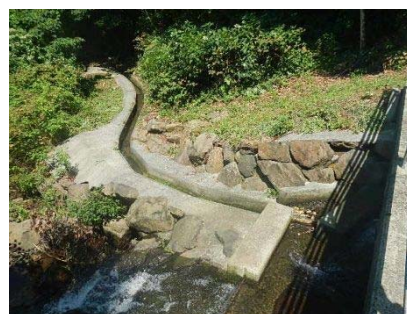
野々頭地区

- 事業完了後、貯水型治山ダムは常に満水状態で水不足が解消され、安心して生活ができている。
- 用取路の取水口については、十分な対応(分水仕切り、補強)がなされ、満足している。
- 管理車道が設置され、車での用水路の管理や森林整備作業が可能となり、利便性が大変向上した。
- 本数調整伐(間伐)を実施してから10年前後が経過し、林分が密閉してきていることから、再度、森林整備をお願いしたい。

貯水型治山ダム



用水路の取水口



本数調整伐(間伐)



実施直後

10年後



公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名： 港湾施設改良費統合補助事業
- 路線名又は箇所名： 唐津港東港地区
- 事業の概要

工 期：平成14年度～平成18年度

事業費：2,540百万円

事業内容： 県では、貨客船の大型化や高速化への流れに対応できる公共ふ頭の整備が必要である。そのような中、呼子～壱岐間に就航しているフェリー利用者から、発着所までのアクセスに時間がかかるなどの意見を受けていたことから、唐津港東港への移転を計画し、アクセス時間の短縮とともに船舶の大型化にも対応できる新たな公共ふ頭を整備することとした事業である。

【公共事業の効果等】

- フェリー発着所が呼子港から唐津港への移転することにより、フェリー利用者及び貨物の移動便益及び輸送便益が向上する。
- 就航するフェリーの大型化・高速化等が対応可能となり、利用者の利便性が向上する。
- フェリー利用者の車両が呼子地区の臨港道路を通行しなくなることにより、他の離島航路利用者や漁船の荷役等により混雑していた臨港道路の混雑解消が図られる。

【事業実施前の状況等】

- 呼子地区では、現在も続く朝市や、他の離島航路利用者、漁船の荷役及び呼子～壱岐フェリー利用者により、臨港道路がたいへん混雑していたため、地区住民をはじめ、買い物や食事等で散策される観光客の安全確保が十分でないことなどが問題となっていた。

【事業実施後の状況や県民の声など】

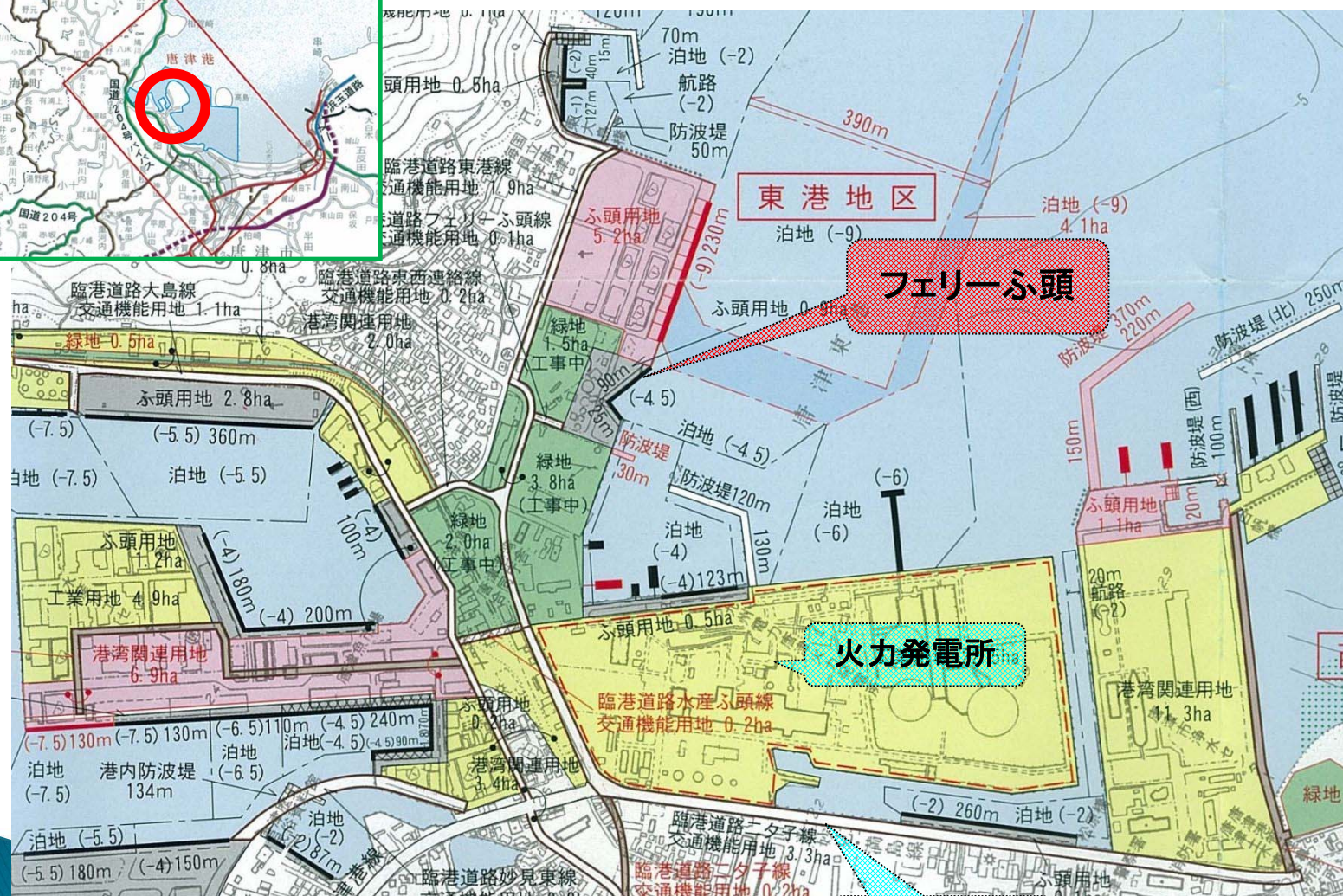
- フェリー発着所までのアクセス時間が短縮されたことや、利用者向けの駐車場が広く確保されたことなどから、利用しやすくなったとの声をいただいている。
- 呼子地区における臨港道路の混雑が解消されたことにより、地区住民をはじめ、観光客などから歩きやすくなったとの声がある。

公共事業に係る効果等について

港湾施設改良費統合補助事業
唐津港東港地区

(港湾課)

○事業位置



凡 例	
	航路・泊地 (今回計画)
	航路・泊地 (既設)
	防波堤 (今回計画)
	防波堤 (既設)
	公共岸壁 (今回計画)
	公共岸壁 (既設)
	物資補給岸壁 (既設)
	公共耐震強化岸壁 (今回計画)
	公共物揚場 (既設)
	公共物揚場 (既設)
	専用岸壁 (既設)
	ドルフィン (既設)
	小型さん橋 (今回計画)
	小型さん橋 (既設)
	海浜 (今回計画)
	海浜 (既設)
	ふ頭用地 (今回計画)
	ふ頭用地 (既設)
	緑地 (今回計画)
	緑地 (既設)
	その他緑地 (既設)
	交通機能用地 (今回計画)
	交通機能用地 (臨港道路) (既定計画)
	交通機能用地 (既設)
	その他道路 (既設)
	その他の用地 (今回計画)
	その他の用地 (既設)
	施設撤去 (今回計画)
	自然的環境整備・保全ゾーン
	利用形態の見直しの検討が必要な区域

臨港道路

○事業概要

- 事業名 港湾施設改良費統合補助事業
- 箇所名 唐津港東港地区
- 所在地 唐津市東大島町
- 工期 平成14年度～平成18年度
- 総事業費 約25億円
- 事業内容 フェリーふ頭整備
 - 岸壁(−4.5m)115m、泊地(−4.5m)2,000m²
 - 可動橋 18.5m
 - 歩廊橋(ホーディングブリッジ)17.5～21.5m

(唐津市) ターミナルビル 鉄筋コンクリート 3階建

○背景と目的

呼子港では、

- フェリー発着所までのアクセス(旅客・貨物)に時間がかかる

よって

- 利用者の大半においてアクセスしやすい港へ発着所を移転し、アクセスの向上を図る

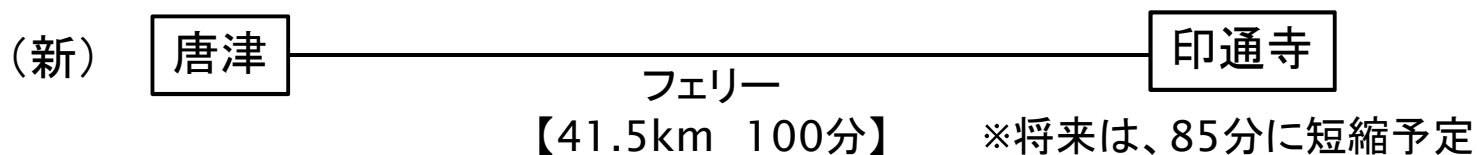
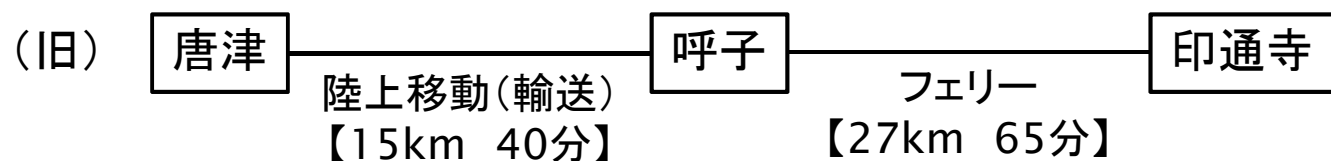
そのため

唐津港東港への移転

- 利用者の大半にとってアクセスしやすい

○事業の効果(1) フェリーへのアクセス向上

- 旅客移動時間が減少(5分短縮、年間約5,700万円の効果)
- 貨物輸送費用が減少(年間約1億1,000万円の効果)



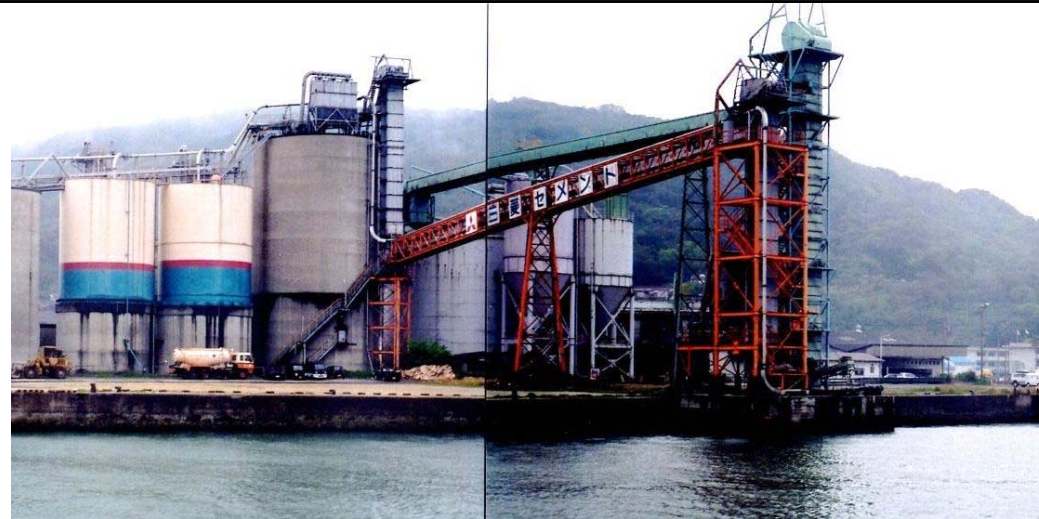
○事業の効果(2) 呼子地区臨港道路

- 呼子港フェリー利用車両台数 約120台/日が無くなり、呼子地区臨港道路の混雑が緩和



○事業の効果(3) 唐津港 東港地区

➤ 唐津の海の玄関口として、景観的にもふさわしい姿に変貌



○事業の効果(4) 唐津港 東港地区

➤ フェリー利用者の利便性向上



岸壁の延長増により、船舶が大型化

バリアフリーにも対応

エレベーター、バリアフリー席、
車いすスペース等を完備



ボーディングブリッジの新設により、
乗降者の利便性が向上

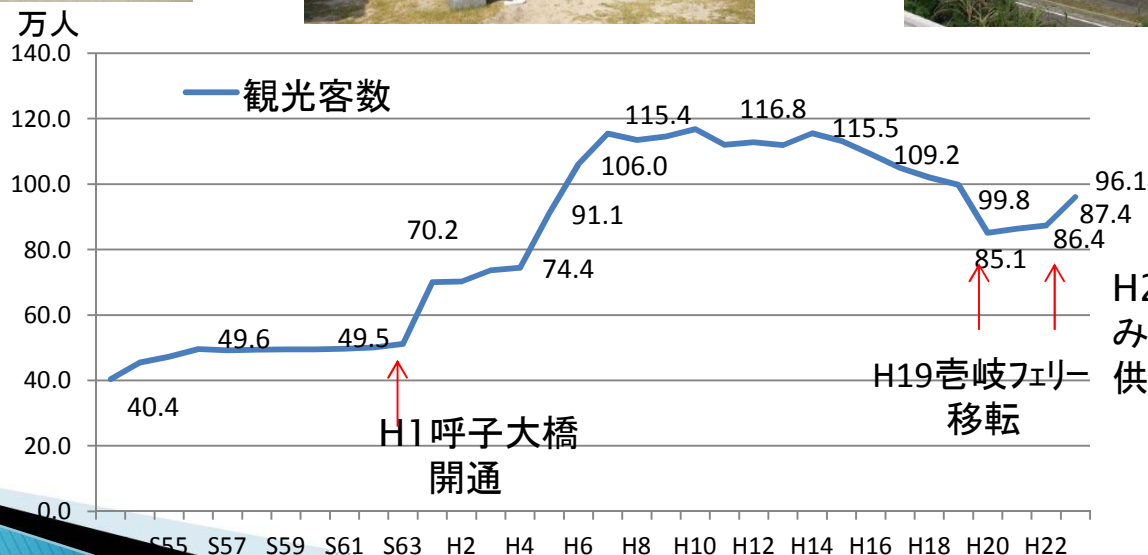


大型バスへの乗り換えが楽になり、
フェリー利用者の利便性が向上

○呼子港 旧フェリーふ頭の新たな姿

➤ 他事業による跡地利活用にて、地域の活性化に役立っており、観光客も回復傾向にある。

旧フェリー
ふ頭



H22台場
みなとプラザ
供用開始

H19壱岐フェリー
移転

H1呼子大橋
開通

○県民の意見

【メリット】

○フェリー発着所までのアクセスがスムーズとなった。

○自家用車等駐車場が確保され、利用しやすくなった。

【デメリット】

○呼子地区への人流が減少した。

なお、跡地利用により、観光客数は回復傾向にある。